

えひめ 地域づくり協働体通信

本通信第9号にてレポートした地域団体「まるごと緑」。設立から一年経過したことで、地域での団体の認知度も上がってきたのではないかと思います。現在どのような活動を行なっているのか、愛南町地域おこし協力隊森裕之さんにレポートしました。皆様の地域活動の参考にして頂ければと思います。

愛南町緑（みどり）地区

キーワード：地域資源活用、交流人口拡大

●地域情報誌「まるごと緑通信」

地域団体「まるごと緑」は、昨年度作成した「地域づくり計画」に基づき、様々な活動を行なっております。緑地域に人を呼び込んで新たな人の流れと仕事をつくり、地域の未来を担う人材を育成するために、農・山・清流などの地域資源を活用した様々な企画を実施、立案中です。地域の情報誌として、まるごと緑の活動内容を住民に周知するため作成した「まるごと緑通信」にて実際の主な活動内容をご紹介します。

まるごと緑通信

2017.10 Vol.01

【発行】まるごと緑
愛南町緑地域おこし協力隊
緑公民館【緑基幹集落センター】
E-mail: marugotomidori@gmail.com

【まるごと緑】は、愛南町緑地域の魅力を次世代に引き継ぐことを目的に活動を始めた地域団体です。

地域を元気にする“部活”はじめます！



8月に実施した【曾部川での川遊び＆カヌー探検】【焼く地鶏解体講座＆BBQの様子。地域外参加者の方々からは「とても楽しかった。友人たちにも宣伝します！」「また愛南町へ遊びに来たい！」などの嬉しい声が寄せられました。今後も海・山・里・清流の地域資源を活かし、地域の魅力や暮らしを体験できるプログラムの提供を推進します。

「まるごと緑」は、8月22日に臨時総会を開催し、次のとおり3つの専門部会を設置しました。昨年度策定した「地域づくり計画」(平成28年度～平成37年度の10年間)に基づき、各専門部会が事業主体となって各専事業業に取り組みます。皆さまのさらなるご協力をお願いします！

【地域課題解決部】

- ・地域勉強会
- ・課題解決の仕組みづくり
- ・地域づくりワークショップ

【産業振興部】

- ・石窯づくり
- ・竹・農産物加工・販売
- ・特産品開発・販路開拓
- ・緑マルシェ
- ・交流拠点の維持管理

【移住観光部】

- ・地域資源の発掘・活用
- ・緑体験プログラム
- ・地域案内
- ・地域拠点づくり
- ・広域連携

まるごと緑通信

2017.12 Vol.02

【発行】まるごと緑
愛南町緑地域おこし協力隊
緑公民館【緑基幹集落センター】
E-mail: marugotomidori@gmail.com

【まるごと緑】は、愛南町緑地域の魅力を次世代に引き継ぐことを目的に活動を始めた地域団体です。

新しい人の流れをつくりたい 「愛南の宝」を活かした体験ツアー展開中！



11月15日に緑小学校、曾部小学校、城辺中学校で福岡市在住のバイオリンist中西弾さんによるミニライブを実施しました。子どもたちは目を輝かせて美しい音色に耳を傾けました(写真は緑小学校)。16日には、中西さんに秋の愛南を演奏してもらおうと、山を歩いて狩猟に同行する「ジューガイツアー」を行いました。



東京の旅行会社と連携し、愛南町の魅力を体感してもらうためのテストツアー(11月27日～29日)を実施しました。28日には山出越の里温泉で焼く地鶏の解体を披露しながら「地鶏＆山の山BBQ」を開催していただきました。今回のツアーでは首都圏等から16人が愛南町にやってきました。参加者の方々は四国豊後40番札所観自在寺、高知県の四万十川流域などを巡り、ミカン狩りを満喫。今後も地域の暮らしを体験してもらうプログラムを企画します。

この情報誌の関係サイト/「えひめ地域づくり協働体」

Facebook

●地域の活動情報の連絡先/この情報誌に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL: 089-912-2236

E-mail: chiikiseisak@pref.ehime.jp

(公財) えひめ地域政策研究センター

TEL: 089-926-2200

E-mail: info@ecpr.or.jp

えひめ 地域づくり協働体通信

平成 27 年度地域活動組織構築サポート事業の舞台となった愛南町緑地区において、この事業をきっかけに誕生した「まるごと緑」、その現会長である宮本秀樹さんに、「住みよい緑を次の世代に繋げる組織」と題しまして、取り組みについてレポートしていただきます。

皆さまの地域活動の参考にさせていただければ幸いです。

愛南町緑地区

キーワード：地域内交流、
コミュニティ構築



●「まるごと緑」とは？

全国的に人口減少が問題視されている中、緑地域においても他人事ではない問題であります。『まるごと緑』は地域内の問題を洗い出しその問題を先送りすることなく受け止めこれからの地域の在り方、理想ををみんなで話し合うために、緑地域地区長会を中心に地域内で活動する 14 団体の会長等 27 人で構成されて、現在の組織を再構築し協働、共助、互助によるコミュニティの構築を目指します。

●地域住民の思いを知るために

(1) まずは学びから！

「不安・心配事・地域課題等評価社会調査手法開発・設計事業（まるごと緑計画ブラッシュアップ事業）」を愛媛県及び愛南町の支援を受けて当該計画中の個別事業を地域社会に実装可能なものとするために、愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科准教授羽鳥剛史研究室（准教授及び学生 3 名）の協力を得て、地域住民の不安・心配事・地域課題等の社会調査手法を開発・設計しました。

まずは、羽鳥准教授に「地域づくりへのトランスディシプリナリー・アプローチ」と題して地域づくり講演会をしていただきました。まるごと緑の構成員 24 名が参加したこの講演会では地域づくりの考え方と同時に事業の概要の説明もしていただきました。

(2) いよいよ調査開始！

その後、運営会メンバーで 2 回の事業打ち合わせとアンケート調査を経て、人口統計に基づき年齢性別を統制した 10 代～70 代の緑地域住民 60 名を対象に約一週間をかけて聞き取り調査を行いました。この調査は緑地域の住民が地域で暮らすうえでどのような不安や心配事を抱えているかを把握することが目的です。アンケートと聞き取り調査の結果、地域住民の幸福感向上を目指すうえで行政サービスに対する不安を払拭し、地域住民が日常生活や他者との関係性に対して不安を感じないように努めることが肝要であると考えられました。

この事業成果を基に来年度は地域住民と行政が話し合い合意形成する『新しい公共』のモデルの創造と実践を行っていきます。



羽鳥先生の講演を真剣に聴く地域の皆さん

●その他の事業

① 地域おこし協力隊員・集落支援員から学ぶ地域の受け入れ

内子町小田の地域おこし協力隊員の納堂邦弘氏と東温市集落支援員の森裕之氏を講師に迎えて、講話と二班に分かれて座談会を行いました。

② 交流イベント

平成 29 年 2 月には、森裕之氏の力添えで東温市井内区の『人・空・棚田を生かす会』と交流会を行いました。井内区のイベント（海・山コラボダイニング）に愛南産の魚介類と柑橘を持ち込み参加しました。

また地域内でのイベントとして、緑青年団を中心に地域外の方たちと緑産の食材を利用して緑体験イベントを行いました。交流拠点の整備として地域内外の人たちの交流の場として緑ふれあい広場を整備しています。

この情報誌の関係サイト/「えひめ地域づくり協働体」 Facebook

●地域の活動情報の連絡先/この情報誌に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL: 089-912-2236 E-mail: chiikiseisak@pref.ehime.jp

(公財) えひめ地域政策研究センター

TEL: 089-926-2200 E-mail: info@ecpr.or.jp